広報
みさわ

'88 1月号

■No. 410 ■ 発行・三沢市役所 編集・広報課

新春のあいさつ……………………………2
20歳の旅立ち…………………………4～5
第30回青森県褒賞…………………………6
市体育功労者……………………………7
青森県青年の船に参加して……………8
市県民税の申告………………………10～11
指名競争入札参加者受付…………………12
1月のカレンダー…………………………15

賀正

小川原湖に飛来した白鳥
（小川原湖福祉センター附近）

市長	鈴木重令
助役	三浦光雄
収入役	林　守能
議長	西村秋男
副議長	畑山松男
議員	山本弥一
同	瀬川武夫
同	坂本　稔
同	堤　喜一郎
同	工藤嘉太郎
同	河村睦美
同	西村盛司
同	森　三郎
同	小比類巻種松
同	羽立　隆
同	伊藤雄康
同	別部昭三郎
同	宮沢千代光
同	野口　稔
同	山本直次郎
同	別部辰一
同	浅野哲朗
同	星山喜一
同	瀬川友直
同	馬場義美
同	出戸勝見
同	木村末太郎
同	中村梅吉

夜明けの淋代平

市制施行30周年の意義ある年

新春のあいさつ

市民福祉向上と市政発展のため 希望のもてる飛躍の年にしたい

三沢市長
鈴木重令

市民の皆さま明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。お陰様で私も市長就任以来十一ヵ月を経過いたし、始めてのお正月を元気に迎えることができました。これも偏えに市民の皆さまの御助言、御助力の賜ものであり謹んで感謝の意を表します。本年は市制施行三十周年の意義ある年を迎えました。この意義ある年を節目として更に市民福祉の向上と市政発展のため全力を注ぎ、誰もが希望の持てる飛躍の年とすべく決意を新たに邁進して参りますので暖かいご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

振り返って見ますと昨年は、懸案となっておりました新設校としての堀口中学校の落成及び開校、三沢駅舎の落成、そして市民運動広場夜間照明施設設置など明るいことが続いた反面、F16戦闘爆撃機、F1支援戦闘機のあいつぐ墜落事故発生によって市民を不安に落し入れた年でもありました。

さて、市政施行三十周年の意義ある年を迎え、新たな三沢市建設の出発にあたり、その指針となる第二次三沢市総合開発計画を現在策定中であります。その計画の一端を申し上げますと都市形成並びに経済活動の基盤となる高速交通体系の整備につきましては、第二みちのく有料道路（南伸計画）I・Cの三沢附近の設置と新規航空路線の確保（三沢～大阪・三沢～名古屋）を強力に進めて参りたいと考えております。

次に教育・文化の振興につきましては、小中学校教育の充実、工業高校の新設、また基地内の大学の活用など若者の集う国際文化都市の実現を図って参ります。

次に産業経済の振興についてでありますが、特に円高不況による商工業の活性化対策を積極的に進めて参ります。

次に農漁業についてでありますが、生産基盤である三沢漁港の整備促進をはじめ、広域農道の整備と一般農道網の整備促進並びに基本技術の確立と生産安定に努め足腰の強い農漁業を確立しなければならないと考えております。

次に観光開発でありますが、観光客の誘致を図るための市民の森の整備促進と広沢記念館、航空博物館等の建設を図りたいと考えております。

最後に基地対策についてでありますが、騒音対策、特に進入表面下対策としての四川目地区の住民の集団移転については、住民の立場に立って誠意をもって対応するとともに、国に対しては、抜本的な民生安定対策を求めて参る所存であります。以上、年頭にあたっての所信の一端を申し上げましたが「公平な政治と市民総参加の政治信条」を念頭に諸般の厳しい情勢と多くの課題に鋭意努力して参る所存でありますので本年も市民の皆さまの変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げる次第であります。

市民の皆さまのご多幸をお祈り申し上げ御挨拶といたします。

年頭のあいさつ

青少年が活躍しやすく お年寄りが住みよい社会

市民生活の安定向上のため 全力を尽くします

三沢市議会議長
西村秋男

市民の皆様、あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃から市政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新生三沢を賭けた最初の年であり、議会といたしましても執行部とともに機会ある毎に市民の皆様の声を直接市政運営に反映させるべく努力して参りました。お陰様で昨年の春以来、集団移転問題をはじめ懸案事項が一つずつ処理され、皆様からもご好評を博しているようでございます。

しかしながら、当市にはまだまだ処理しなければならない問題が山積されております。

一昨年以来続いている急激な円高は基地を抱える当市経済に大きな打撃を与え、残念ながら将来の見通しも決して明るくはないようであります。

また、昨年はF－1支援戦闘機、F－16戦闘爆撃機の墜落事故が相次ぎ、市民が大きな危機感を抱いたのも事実であります。

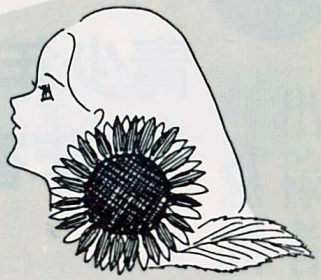
本年は、市議会議員の選挙が執行される年であり、私ども議員は市民の皆様の審判を受けることになっております。

三沢市の次代を担う青少年が活躍しやすく、現代を築いたお年寄りが住みよい社会を目指し市民生活の安定向上のため、今後一層創意工夫を重ね、市民の皆様方のご期待に応えるよう全力を尽くして参る所存でありますので、皆様方の暖かいご理解を心からお願い申し上げます。

どうか本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、市民の皆様方のご多幸とご健康を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

姉沼から八甲田連峰を望む

20歳の旅立ち



若人に聞く
私の抱負

自立する精神をもちたい

市内電気製品製造会社勤務
山本新一さん

僕は今、シーディープレイヤーとラジカセ製作のための資材発注と供給の管理業務を行っています。勤務してまだ二年足らずなので毎日が暗中模索です。

今の業務は、まだ半年くらいですが、一番苦労するのは人づきあいです。取引先の相手は、ほとんどが四十から五十歳代の方ばかりですので、気後れしないよう自分の気持をしっかり引きしめ、そして、相手に対しては、自分をはつらつとした、さわやかな印象をあたえるよう常に心がけています。

二十歳になったからというわけではありませんが、英語を勉強したいですね。会社の製品はアメリカ、ヨーロッパなど海外向けのものが多いので、何か役に立つと思います。

結婚―友だちが結婚した時はうらやましいと思いましたが……。仕事やスキー、旅行などまだまだやりたいことがありますから。結婚すればやはり制約されると思います。

「成人」というと社会的に一人前として認められ、当然「義務と責任」を負うことになります。今まで親任せでしたが、これからは自分で物事を判断し決めなければならない世代に入ったのだと思います。

そのような意味でこれからは「自立する精神」を持つ必要があると思います。

選挙の一票とても重大なこと

市内銀行勤務
大山節子さん

新成人といっても、これといった実感がありません。ただ、周囲の目がちがってきたように思います。

私は、高校卒業と同時に現在の職業に就いたので、社会人となったというイメージが具体的にわかないかもしれません。

しかし、法律上はいろんな適用を受けると思います。

例えば、私に最も身近かで関心があるのは、「選挙権」があたえられたということです。自分の考えが直接選挙によって社会に反映させることができる―そのことに大きな責任を感じます。そう考えると選挙における一票というものがとても重大なことだと思うようになりました。

私は今、普通預金でチェッカーの業務を担当していますが、これからは、定期関係などもっといろんな仕事を覚えたいと思います。特に最近、マル優廃止など金融制度改正の動きがありますのでもっと勉強しなければなりません。

私の二十歳の旅立ち―それは先ず仕事に熱中すること。そして、旅とスポーツをすることです。

余暇を利用していろんな所へ足を運び、その土地独特の「こと」や「街並み」に接し、自分を見つめてみたいと思います。

それから、ふだん座っていることが多いので健康づくりのためスポーツを大いにやりたいと思います。

私の住む三沢市―国際色豊かで緑の多いフレッシュな街、そんな町づくりを望みます。

建築士の資格と伴りよに巡り合うこと

市内建築会社勤務
菊地正人さん

僕は建築関係の仕事をしていますが、一番大切だと思うことは、人に信用されることです。

高校卒業と同時に今の会社に入りましたが、最近ようやく仕事が楽しくなりました。

入社当時は、気持があやふやで、間違いをしては何度やめようと思ったのかしれません。

近ごろ自分なりに仕事に意欲が出てきたのは、やはり学生時代と違い社会へ出れば「間違い」は通用しないっていうことを肌で感じ、それなりの自覚が自分に出てきたのかもしれません。

今は、「人が住みやすい家づくり」を目指して、いろんな角度から想像力を養っていかなければならないと思っています。

そのようなわけで、よそへ出かけて行っても、自然と目が建物へいきます。造り方や製品の流行などに割と敏感でなければなりません。

家族は五人ですが、父は長期の出稼ぎをしていますので、男手は僕一人です。家庭や町内のことについて、それなりに父のいない穴を埋めなければと思っていますが……。

二十歳—やはりなりたくないですね。いろんな責任が出てきますから。残念なのは十代で記念に残るような思い出をつくりたかったですね。

二十歳の旅立ちを契機に、先ず二級建築士の資格をとること。そして、すてきな女性に巡り会うこと。将来の夢は、自分の理想の家を建てることです。

自分の行動に責任をもつこと

市内化学工業会社勤務
藤田美希子さん

二十歳の私—それは、自分の行動に責任をもつことです。十代から二十代に入り「時の流れ」があまりにも早く感じられます。そして、結婚している友達なんか見るとびっくりし、私もそんな年代になったのかと、改めて考えさせられます。

結婚はしてみたいと思いますが、やはりいろいろ制約されますから。二十五歳まで、家があり、庭があり、そして、やさしく、しっかりした人格の男性がいたら理想的ですね……。

成人式は、社会の一員として新しい人生の船出の儀式だと思います。そのような意味で、先ず仕事の中で何か一つだけでも自分のものにしたいですね。当面は、危険物取扱いに関連した資格取得を目標にしています。

また、仕事以外のライフワークとして、中学時代からやっているバレーボールなどのスポーツと、手話サークルの活動を続けていきたいと思っています。

特に手話は、高校三年生のとき市の広報紙で知り、こんな勉強を是非してみたいものだと今のサークルに入りました。そして、障害のある方々との交流はいろんなことを考えさせられ、私が日々生活する上で貴重な体験をあたえてくれます。

私の住む町—三沢、さみしい、暗いイメージがあります。もっと明るく、楽しくショッピングができるような町であればいいですね。

三沢市の将来を支える若者の育成を

市内カメラ店勤務
田中浩之さん

最近よく同級生が二十歳の記念写真を撮りに来ますが、そんな時、自分もそう言えば成人を迎えたんだなあ……と思います。

成人としての実感は、やはり選挙など具体的な事実があったとき感じるものだと思います。

家庭で二十歳を過ぎ初めて父と酒を酌みかわしたことがありましたが、その時、父も心の中で自分を成人と認めているんだなあと感じ、内心照れましたね。

社会人の要件は、責任と自覚をもつことだと思います。

最近ようやく仕事にも慣れ、写真の技術的なことについて専門学校や通信教育などで本格的に勉強したいと思っています。

仕事以外では、地域の子供会の育成指導をしています。初めて指導者として冬の一泊研修に参加したとき、子供たちが僕をよそよそしく見ていました。とまどいながらも僕は子供たちの中へ積極的にとけこみ、同じレベルで物を考えようと努力したら、自然と子供たちがついて来ました。このとき、僕は初めて「大人の目ではなく、子供の目で見、考えれば、子供たちが何を考え何を望んでいるのか理解することが出来る」ということを知り、心を洗われるような感動を覚えました。今後ともこの活動は、続けていきたいと思っています。

結婚—自立するためにいろんな要件を備えなければ考えられないですね……。

この町に望むこと—それは、働いている方や、若い人がいろんな技術や知識を身につけるための専門学校や施設があればと思います。何故なら、三沢市の将来を支える若者を育成する必要があるからだと思います。

実践活動を通じ視野を広げたい

弘前大学在学中
小江雅美さん

学生生活の中では、成人を迎えたといっても特別感情はわいてきませんが、それでも以前と比べたら他人を多少気にし、物事を細かく考えるようになりました。

特に、社会の動きについては身近に感じるようになりましたね。社会、政治経済、教育、文化など多様な情報が新聞紙上などを通じて報道されますが、それらのマス・メディアについて最近、特に興味をもつようになりました。

事件、事故、災害などのニュース記事は、社会が今どう動いているのかを伝え、それが私たちの貴重な情報源となります。そして、それが世論の形成に大きな影響を及ぼしてゆく—そのようなマスコミのプロセスを自分なりに追求してみたいと思うようになりました。

このように考えるようになった自分は、やはり二十歳となり社会の一員としての自覚が生まれてきた証拠なのでしょうか。

これから、専門課程へと進み就職となりますが、将来はやはりマスコミ関係の仕事に就き、実践活動を通じて、自分の視野を広げていきたいと思っています。

ふるさと「みさわ」に住み、そのような仕事ができるといいのですが……。

学校医37年の荒井行夫さんら

県褒賞　５人が受賞

昭和六十二年度、第三十回青森県褒賞が決まり、授与式が十一月三十日、青森市で行われました。

県褒賞は、治安維持や人命救助など公共の福祉増進の功労者や、広く県民の模範となる人に対し顕彰するものです。

今回の受賞者四十八人、二団体のうち、三沢市から次の五人の方々が受賞されました。

▼地方自治　木村末太郎さん（七二）

●市議会議員七期二十八年

▼社会福祉　河村利喜造さん（七二）

●民生・児童委員三十年

▼保健衛生　荒井　行夫さん（七三）

●学校医三十七年

▼消防　中塩　義美さん（六四）

●市消防団長・消防団三十七年

▼統計　阿部　徳美さん（七二）

●統計調査委員三十六年

納税作品コンクールの発表

三沢市と三沢市納税貯蓄組合連合会（山本直次郎会長）では、納税思想の普及と高揚をはかるため、市内小・中学生を対象に税に関する作文、習字などを募集していましたが、このほど応募の結果が発表されました。

今年度は、税制改革など税に対する全般的感心も高まり、参加十一校、作品数八十四点で、前年と比較して大きく伸び、内容も十和田地区支部、および県連合会コンクールで高い評価を受けた作品もありました。

当市の入賞者は次の通りで、その一部について次号の広報紙で紹介します。

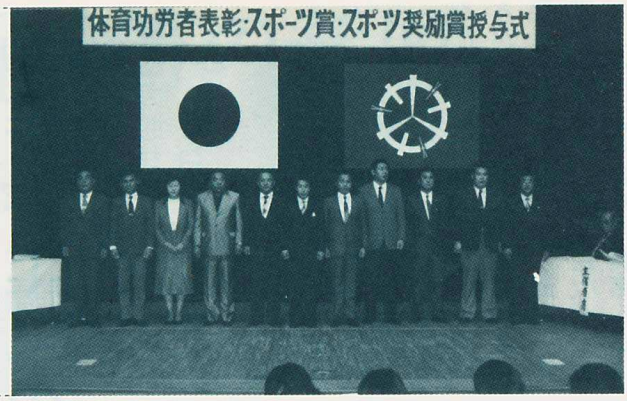
昭和62年度納税作品入選名簿

作品	小・中	学校名	入賞別	学年	氏名	備考
作文	小学生	三沢小学校	金	6	川島陽子	支(銀)　県(銅)
		木崎野〃	銀	6	小岩絵理子	支(佳)
		〃〃	銅	6	山本幸子	
	中学生	第五中学校	金	3	犹守美樹子	支(金)　県(奨)
		〃〃	銀	3	岡山美枝子	
		〃〃	銅	3	伊藤康二	
		第三中学校	佳作	3	馬場純子	
習字	小学生	古間木小学校	金	1	なかむらみおこ	支(金)　県(佳)
		天ヶ森〃	銀	1	むらまつかずや	支(佳)
		古間木〃	銅	1	沼宮内一央	
		天ヶ森〃	金	2	立花和哉	
		三沢〃	銀	2	安藤ひろし	支(佳)
		古間木〃	銅	2	仁和ちほみ	
		天ヶ森〃	金	3	二羽小百合	
		古間木〃	銀	3	高田秀行	
		織笠〃	銅	3	三浦明子	支(佳)
		天ヶ森〃	金	4	佐藤幸一	
		三川目〃	銀	4	河村優紀	支(佳)
		古間木〃	銅	4	入谷恭子	
		〃〃	金	5	浜田勝彦	
		天ヶ森〃	銀	5	奈良浩年	
		古間木〃	銅	5	中村純	
		〃〃	金	6	大友早苗	
		木崎野〃	銀	6	山本幸子	支(佳)
		淋代〃	銅	6	平内麻希子	支(佳)
	中学生	第五中学校	金	3	小橋玲子	支(金)　県(奨)
		天ヶ森〃	銀	2	沼田民子	支(佳)
		第一〃	銅	1	櫛引綾子	支(佳)

体育振興に功績のあった218人表彰

62年度　市体育功労者・スポーツ賞
同奨励賞・体育協会功労賞

―市体育功労者は煙山虎雄さん―



体育協会功労者の方々

昭和六十二年度の市体育功労者、スポーツ賞、同奨励賞、および体育協会功労者が決まり、十二月五日、市公会堂で表彰式が行われました。

市体育功労者には、三沢市スキー協会副会長の煙山虎雄さん(五八)、体育協会功労者には、内山隆司さんら十一人、また、スポーツ賞には百六十人、同奨励賞には四十六人の方々が表彰されました。

市体育功労者

煙山　虎雄さん(五八)

煙山虎雄氏は、昭和三十九年から三沢スキークラブ会長、五十二年から三沢市スキー協会副会長を歴任され、永年にわたり冬期スポーツを通して青少年健全育成とスキー協会発展に貢献するとともに、市体育協会役員として当市スポーツ発展に寄与されました。

市体育協会功労者

内山隆司（テニス協会）、岡沢照夫（ソフトボール協会）、小比類巻ハル（バレーボール協会）、山本松雄（クレー射撃協会）、新山正定（スキー協会）、久保直樹（同）、天間征良（柔道協会）、根城長一郎（同）、堤喜一郎（野球協会）、山崎国雄（相撲協会）、角千代美（空手協会）

スポーツ賞

▽**陸上**＝山田善寛、木村武弘、佐々木直樹、番沢孝至、山崎正人、沖沢浩二、鈴木浩二、高松義弘、宮崎洋、浪岡宏隆、尭部伸夫、奥寺清悟、村井一雄、川村晃彦、土田淳、菅原一博、斉藤殊子、成田叔枝、高田登、尾野俊子　▽**ソフトボール**＝中井泊、境実博、満永等、星野勉、鈴木滋美、竹本重治、遠藤宏、矢武繁雄、冨高直人、川上浩一、板橋仁、浜村嘉照、下林竜介、大内和稔、野上雅裕、中村明子、中岫加奈子、上野和子、高松昭子、甲地真利子、井上ひとみ、米田智子、福士由美子、附田泉、長澤美保子、奥田吏子、松村美保子、金崎恵子、中村由美子、高田香織、沢下由香、浪岡美弥子　▽**軟式野球**＝千浦賢一、米倉幸星、昕進一、岩間正典、中居昭仁、上久保淳、中野篤、織笠貴浩、鎌本俊明、坂田純一、富田直人、坂本博隆、神山幸二、武田淳史　▽**野球**＝藤村真、浪岡一、奥山勉、田中貢、沖沢聖二、須藤悟、木村護、小笠原清人、長久保武則、種市剛大、米倉勇二、小笠原雄一、遠藤禎之、船見昌功、国分英輝、小向昇、渡辺聡、横田和永、遠藤哉、河村文利、高橋浩　▽**ホッケー**＝大久保和恵、高橋美喜子、立崎久美子、藤田恵子、小笠原真紀、浄法寺伸子、内海貴子、石田文子、蛯名仁美、浜田ひとみ、森田佳恵、竹内西子、小松美和子、赤羽祐子、小笠原由紀子、種市リカ子、山田恵、蛯名真喜子、米内山洋子　▽**バスケットボール**＝鳥谷部正美、佐藤かおる、仁和富貴子、新堂順子、西直香、佐藤康子、瀧端和歌子、広瀬貴子、杉本久枝、竹内淳子、梅内めぐみ、岩間桂、持原美恵子、▽**バレーボール**＝加藤満、柏崎直樹　▽**軟式庭球**＝吉田由佐子、上畠照代、吉田睦子、佐藤美奈子、竹ヶ原智恵子、久保幾久子、竹内るり子、大坊徳、竹島幸子、吉田富美子、舛甚美代子　▽**ラグビーフットボール**＝浄法寺正哉、大上純一　▽**剣道**＝山野由美子、山本勇子、工藤千保、名久井春香、千葉知美、小坂優美子、葛根田雅代、伊東正晴　▽**柔道**＝三上吟、根岸崇之、高村幸勝　▽**弓道**＝竹下美奈子、深澤江理子、吹越貴子、沼山浩子、木村敦子、吹越浩子、石井美穂子、藤本孝幸　▽**自転車**＝野々宮崇博、曽根弘高、長井祐樹　▽**アーチェリー**＝赤沼成人　▽**レスリング**＝藤村和人　▽**相撲**＝山崎邦彦　▽**ソフトボール・陸上**＝冨田勉

スポーツ奨励賞

▽**陸上**＝馬場智、根城亮輔、柳充、山本陽子　▽**水泳**＝二宮和枝　▽**ホッケー**＝武井育子、山本久美子、佐々木真寿美、千葉香、三浦奈々、郡山ナミ代、角貴子、斗沢真貴、冨田千春、新山順子、中村宏子、砂金九三子　▽**なぎなた**＝小岩絵利子、古川顕子、種市千賀子、高橋あゆみ　▽**空手**＝千葉大道、新山聖将、菅原紀久子、鵜川博行、宮崎利奈、サムエル・マグノ、大久保威、大久保うつみ、関光明、迫祐美、山本徳光　▽**剣道**＝島名智恵　▽**柔道**＝山崎雄介、沢上健太郎、中村忍、枋木真人、蛯名教介、東幸司、天間崇仁、西野英樹、中屋敷剛、神浩史、梶谷佳紀、畑山千賀子、榊尚子

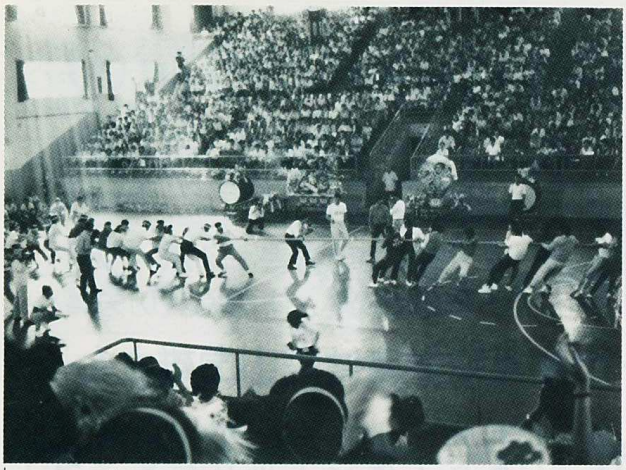
62年度

青森県青年の船に参加して

－3－

異国の地から日本をみつめる

川端　悟



中国青年とのスポーツ交流会

「二十一世紀の青森県をつくるため、青年は今、何をなすべきか」をテーマに県内の青年を乗せ、船は出航した。最初の寄港地、釜山は、韓国最大の港町ということもあり、食事もショッピングも不自由なく、日本の都市と変わらない近い国に思えた。中国では、どこへ行っても「熱烈歓迎」の横断幕がかかっていた。韓国では年間かなりの日本人観光客があるそうだから団体に慣れているようだったが、中国はバスにしろ、食事にしろ、総勢四百人近くもの団体に一生懸命対応していたようだ。韓国では観光客、中国では友人扱いされているような気がした。私達が一歩国外へ出れば日本人として人々は接する。韓国・中国の限られた一部地域の訪問ではあっても、そこに生きる人・文化・歴史に触れたとき、日本人という国、日本人という自分に対して、あらためて考えさせられた。船では、二週間も一緒に生活した仲間がいた。この間学んだいろいろなこと、つながりを生かして自分のため、そして生活する地域のため役立てたい。

積極的に参加しなければ何もつかめない

松本美穂子

十四日間の「青年の船」を終えてみると、船酔いに悩まされ、研修の一部に参加できなかったことが悔まれてなりません。研修の講話、交流会では、自分の未熟さ、勉強不足を身にしみて感じました。ゼミナール、ディスカッションでは、各自、抱える問題点、悩み、意見が交わされましたが、最後には、まず実行しようじゃないか、話だけで終わることなく何事にも当って砕けろの精神―を新たに植え付ける事ができました。研修、船内生活を通して一番感じたことは、まず、自分が積極的に参加しなければ何もつかめないということです。下船後は、地域に帰り、いろいろな活動が予定されておりますが、龍頭蛇尾で終わることなく、地道に続けて行くよう努力したいと思います。青島の夕陽にも感激しましたが、帰って来て八甲田に沈む夕陽の雄大で綺麗だったこと―改めて我が街の良さを確認しました。船への参加で、多くの友人を持つ事ができました。この友らと手をつなぎ合い、小さな波紋が少しずつ広がるように、まず自分自身の開拓、努力を、怠るまいと思います。まだまだ、沢山伝えたいことはありますが、お世話になった、関係者の方々へ感謝し、今後多くの青森県の青年が体験できるよう、青年の船の存続を、願います。

豊かな心を育てる

－26－

あいさつ、思いやり、感謝の心 オアシス運動を実践…三沢小学校

本校は、本年度創立百十周年を迎え、文部省道徳教育推進校の三年間の指定を受けたこともあって、一段と活気に満ちています。

「松の子八つのめあて」を柱にして、毎日いろいろな場で実践活動に取り組んでいます。

例えば、その一つに「オアシス運動」があります。これは、地域の人々にきちんとした挨拶をし、思いやりと感謝の心を持とうという運動です。その成果でしょうか、朝、玄関に一歩足を踏み入れると、「おはようございます。」という児童会の子どもたちのさわやかな声が聞かれます。上級生とすれ違う一年生が、「おはようございます。」といって、ちょこんと頭を下げて通る姿もあちこちで見られ、とてもほほえましい光景です。

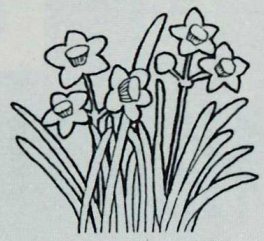
この運動は、PTA活動の一環としても取り上げられるようになりました。家庭との連携が図られるようになって、いっそう確かな歩みになって定着しつつあります。

そのほか、読書一万ページや全校音楽、マラソン、なわとび運動、種まきから始める一人一鉢運動などを通し、子どもたちの心は着実に育ってきています。

父母と教師が心を一つにして子どもをはぐくむことの大切さを、今さらのように感じています。

季節の話題

1月



（スイセン）

▶安全な氷上で休んでいるオオワシ（羽の上部が白い）

小川原湖の四季

ワシ
本州最大の越冬湖

本湖に渡来するワシは、オジロワシとオオワシ（写真）で、オジロワシは名の通り尾が白く、オオワシは尾と羽の上部が白い。

オオワシはオジロワシより大型で羽を広げると二メートル以上になり、日本のワシ類中最大・最強です。夏は北海道以北の海岸で子育てをし、冬期は本州中部まで南下して越冬しますが、何れも、ハクチョウやカモの大群がいる湖沼の安全な場所に限定されます。両種とも、魚類を主食にしていますが、湖が結氷するとハクチョウやカモを捕食するようになります。ワシよりハクチョウの方が飛ぶのが早いので、ワシがねらうのは病弱のハクチョウです。健康なハクチョウは、そのことを知っているので、ワシのいるすぐ側でのんびりと餌を食べていることがあります。二種とも国の天然記念物で本湖は本州最大の越冬湖と考えられています。

（田高昭二）

歳時記

門松は歳神がよりつく樹木

「門松」は、今は正月の飾り物のように考えられていますが、本来は、歳神（としがみ）の霊がよりつく樹木と考えられています。

このため、地方によっては、歳神のことを「御松様」などと呼んでいる所もあります。

これは、古来、樹木に神霊があまくだるという信仰によるものとみられ、必ずしも松に限らず、杉・竹・椿などを立てる場合もあり、また、外ではなく屋内に立てる地方もあります。

歳神は、一年の農耕生活の安泰や豊かな稔（みの）りをつかさどる農耕神といわれ、また、家の先祖の霊を迎えまつる先祖霊としての性格をもっている所もあります。

大みそかの夜、しめ飾りをし、鏡もちを供え、夜あかしして歳神を迎えたのが、かつての年越でありました。

生活雑排水をきれいに 川は汚れています

住宅の増加や生活レベルの向上につれ、私たちの日常生活に伴う汚水の量は増えてきています。

そして、そのほとんどは未処理のまま流されています。このため生活雑排水は川の汚れの大きな原因となっています。

生活雑排水をきれいにし、美しい自然をとりもどしましょう。

家庭では次のことに心がけましょう

■調理くずや食べ残しは、そのまま流さないようにしましょう（三角コーナーや目の細かい網を設置する）

■使い古しの天ぷら油は「流し」に流さないようにしましょう（古新聞紙などにしみ込ませゴミ出しする）

■洗剤は石けんか無りん洗剤を適量使いましょう

■浄化槽は、正しく使用し保守点検と清掃をしましょう

※浄化槽の維持管理は法律により設置者に義務づけられています

■町内ごとに定期的に側溝や河川の一斉清掃を行いましょう

昭和63年度

3月15日まで 市・県民税の申告

昭和六十三年度市・県民税の申告受付日程が別表のとおりきまりました。市・県民税の申告をしなければならない方は、日程表にしたがって各受付会場で申告書を提出してください。

この申告は、あなたの市民税と県民税を計算するための基本資料となるものです。また、国民健康保険税や保育料の算定、幼稚園・私立学校授業料負担の軽減、老齢福祉年金・児童手当等の給付、その他各種証明の資料となる場合がありますので、必ず期限までに申告してください。

前年中に所得のなかった方についても、この申告が右記の各種証明等の参考資料となる場合もありますので、申告書裏面に前年中の生活状況等を具体的に記載して提出くださるようお願いします。

なお、税務署に所得税の確定申告をする方は、三月二日、三日、四日の午前九時三十分から午後四時まで、三沢市商工会館で、十和田税務署職員が出張受付をすることになっておりますので、この日に申告してください。（この三日間以外は、二月十六日から三月十五日まで十和田税務署で受付となります）

市・県民税申告受付日程表

受付月日	受付時間	受付会場	受付町内	受付月日	受付時間	受付会場	受付町内
2月3日(水)	10時～14時	天ヶ森福祉センター	天ヶ森	2月23日(火)	9時半～16時	西古間木町内会館	本町1.2・春日台・古間木
〃	〃	砂森地域集会所	砂森	24日(水)	〃	博高館	本町3.4新町
4日(木)	10時～15時	塩釜公民館	塩釜	25日(木)	〃	薬師文化会館	薬師町・栄町・千代田町
5日(金)	〃	織笠地域集会所	織笠	26日(金)	9時～16時	三沢市商工会館	申告受付が終った町内で、まだ申告のすんでいない方はこの日にしてください。
6日(土)	〃	六川目福祉センター	六川目	27日(土)	〃	〃	平畑・木崎野・南町・松原町
8日(月)	〃	開拓ホーム	八幡・越下・富崎・谷地頭の一部	29日(月)	〃	〃	岡三沢（及び税務署より通知のあった方）
9日(火)	〃	谷地頭集会所	谷地頭・高野沢	3月1日(火)	〃	〃	緑町・東町・美野原（及び税務署より通知のあった方）
10日(水)	〃	根井集会所	根井・朝日	2日(水)	9時半～16時	〃	税務署へ確定申告する方はこの間にしてください
〃	〃	細谷地域集会所	細谷	3日(木)	〃	〃	
12日(金)	〃	淋代公民館	淋代1.2.3丁目	4日(金)	〃	〃	
13日(土)	〃	〃	淋代4.5.6丁目・淋代	5日(土)	9時～16時	〃	松園町
15日(月)	〃	五川目公民館	五川目	7日(月)	〃	〃	花園町・上久保
16日(火)	〃	四川目公民館	四川目1.2.3丁目	8日(火)	〃	〃	大町
17日(水)	〃	〃	四川目4.5.6丁目・四川目	9日(水)	〃	〃	桜町・基地内
18日(木)	〃	鹿中地域集会所	鹿中	10日(木)	〃	〃	幸町
19日(金)	〃	三川目公民館	三川目	11日(金)	〃	〃	中央町1.2丁目
20日(土)	〃	浜三沢福祉センター	浜三沢・堀口17・南山75～77	12日(土)	〃	〃	中央町3.4丁目
22日(月)	〃	深南集会所	深南	14日(月)	〃	〃	まだ申告のすんでいない方はこの間にしてください
〃	〃	駒沢集会所	駒沢・平畑	15日(火)	〃	〃	

■申告をしなければならない方■

昭和六十三年一月一日現在、三沢市内に住所のあった方で、次に該当する方

一、前年中（昭和六十二年一月一日から十二月三十一日）に営業・農業・その他の事業・不動産（地代家賃など）・利子・配当・給与（年金含む）譲渡（土地建物など）・山林（立木などの譲渡）・一時・雑所得などの所得があった方

二、給与支払報告書が三沢市役所に提出されている給与所得者で次に該当する方

(1)給与所得以外に、営業・不動産などの所得のあった方

(2)給与の支払いを二カ所以上の事業所から受けている方（年金なども含みます）

(3)前年の中途で退職された方（ただし、再就職後の事業所の給与支払報告書に前職分の所得が合算されている方は除きます）

(4)給与所得者で雑損控除・医療費控除を受ける方

三、昭和六十三年一月一日現在三沢市内に住所のない方で、三沢市内に事務（業）所、または家屋敷を有する方

■申告をしなくてもよい方■

一、税務署に所得税の確定申告書を提出された方

二、所得が給与所得のみで、勤務先から三沢市役所に給与支払報告書が提出されている方

■申告書の用紙■

申告書はあらかじめ、前年度の実績により該当すると思われる方に二月上旬から郵送しますが、所得があり申告しなければならない方で、申告書が配布されないときは、その旨、税務課住民税係（☎53―5111内線241）までご連絡ください。

また、前年中に三沢市に転入された方、または新たに就職された方で、申告の必要があるのかどうか不明の方にも申告書を郵送することになっております。したがってこれらの方々の中で給与支払報告書が提出されており、かつ給与以外の所得のない方は申告する必要がありませんのでご了承ください。

63年度 個人住民税の主な改正点

項目	改正後	改正前
基礎控除額	28万円	26万円
配偶者控除額	28万円	26万円
うち 老人控除対象者	29万円	27万円
うち 同居特別障害者	36万円	34万円
扶養控除額	28万円	26万円
うち 老人扶養	29万円	27万円
うち 同居老親	33万円	31万円
うち 同居特別障害者	36万円	34万円
白色事業専従者（配偶者分）控除限度題	60万円	45万円

配偶者特別控除……新設

合計所得金額八百万円以下の者の配偶者につき、左記により求めた額を配偶者特別控除額とする。

(イ)控除対象配偶者の場合

$$14万円-\underbrace{\left(\begin{matrix}\text{給与所得等}\\\text{の合計額}\end{matrix}+\begin{matrix}\text{給与所得等}\\\text{以外の合計額}\end{matrix}\times 3.3\right)\times\frac{14}{33}}_{\text{（1万円未満の端数切捨て）}}$$

(ロ)控除対象配偶者以外の場合

$$14万円-\underbrace{\left\{\left(\begin{matrix}\text{給与所得等}\\\text{の合計額}\end{matrix}+\begin{matrix}\text{給与所得等}\\\text{以外の合計額}\end{matrix}\times 3.3\right)-33万円\right\}\times\frac{28}{33}}_{\text{（1万円未満の端数切捨て）}}$$

※赤字の場合は、0

所得割の税率

区分	改正前	税率	改正後	税率
市民税	20万円以下の金額	2.5%	60万円以下の金額	3%
	20万円を超える金額	3		
	45万円 〃	4	60万円を超える金額	5
	70万円 〃	5		
	95万円 〃	6		
	120万円 〃	7	130万円 〃	7
	220万円 〃	8	260万円 〃	8
	370万円 〃	9	460万円 〃	10
	570万円 〃	10		
	950万円 〃	11	950万円 〃	11
	1,900万円 〃	12	1,900万円 〃	12
	2,900万円 〃	13		
	4,900万円 〃	14		
県民税	150万円以下の金額	2%	130万円以下の金額	2%
			130万円を超える金額	3
	150万円を超える金額	4	260万円 〃	4

償却資産の申告は二月一日まで

昭和六十三年一月一日現在で所有し、かつ、事業の用に供する償却資産を二月一日までに申告しなければなりません。

その償却資産とは、土地及び家屋以外の事業の用に供する資産、すなわち、事業の用に供している構築物・機械・船舶・車両及び運搬具・工具・器具及び備品をいいます。

ただし、自動車税及び軽自動車税が課税されている自動車・軽自動車等は除かれます。

申告期限までに申告してください。

また、税務課では家屋滅失届出書の整理作業中です。昭和六十二年中、または、それ以前に災害、新築、立ち退きなどにより家屋をこわした方は、二月一日までに届出ください。詳しくは、市役所税務課資産税係（☎53―5111内線242）へ。

市税の納め忘れはありませんか

昭和六十二年度の軽自動車税、固定資産税、市・県民税、国民健康保険税の納期限が全て経過しました。

お手元の納付書を確認の上、未だ納付されていない納付書がありましたら、お近くの銀行、信用金庫、信用組合、農協、郵便局でお早めに納めてください。

昭和63年度

指名競争入札参加者受付

2月1日～29日

昭和六十三年度指名競争入札参加審査申請書を受け付けします。

市が発注する工事および物品、印刷などを請負または受注しようとする業者（市内に営業所、出張所などを有する業者を含む）は、次により指名競争入札参加審査申請書を市総務部管財課へ提出してください。

▼受付期間
昭和六十三年二月一日から二月二十九日まで

▼提出先
三沢市役所管財課管理係

▼提出書類
（番号順に綴ること）

◎建設工事関係

①建設工事入札参加資格審査申請書
②建設業許可証明書
③商業登記簿謄本（個人の場合は代表者身分証明書）
④営業所一覧表
⑤工事経歴書
⑥納税証明書（国税または地方税）
⑦印鑑証明書
⑧主要取引金融機関名一覧表
⑨経営事項審査申請書の写し、または提出証明を受けたもの（県の入札参加申請業者は県の受付印のあるもの）
⑩技術者経歴書
⑪営業用機械器具一覧表
⑫使用印鑑届
⑬年間委任状（委任する場合のみ提出）
⑭建設業退職金共済組合加入履行証明書、または中小企業退職金共済事業団共済契約証明書

◎測量、建設コンサルタント関係

①建設省統一様式(一)～(九)
②納税証明書（国税または地方税）
③印鑑証明書
④主要取引金融機関名一覧表
⑤営業用機械器具一覧表
⑥使用印鑑届

◎物品関係（物品の製造、販売委託業務等）

①物品供給入札参加資格審査申請書
②使用印鑑届
③納税証明書（国税または地方税）
④印鑑証明書
⑤商業登記簿謄本（個人の場合は代表者身分証明書）
⑥警備業者は公安委員会の認定の写
⑦清掃業者は建築物環境衛生一般管理業登録証明書の写（登録のある業者）
⑧その他許可及び登録を必要とする業者は各種許可書及び証明書写

〈注意事項〉

①建設業と他業種を兼業している場合はそれぞれに提出すること。
②商業登記簿謄本および各証明書は証明年月日が申請提出時の三ヵ月以内のものを使用すること。
③証明書類は複写機による写でも可。
④提出書類はB5版のファイル（色指定なし）に綴じて提出すること。

※詳しくは、市役所管財課管理係（☎53—5111—内線353）にお問い合わせください。

63年度

保育所入所申請の受付

昭和六十三年四月から保育所に入所を希望するお子さんの申請を受け付けします。

●とき　六十三年一月二十一日から二月十日まで
●ところ　福祉事務所
※浜地区は別表の通りです。

◎入所できるお子さんの範囲

●母親が日中、家庭の外で仕事をすることが通常で、お子さんの保育ができない場合
●母親が自営業・内職などで、日中家事以外の仕事をすることが通常で、お子さんの保育ができない場合
●母親が病気、出産（産前・産後八週間）心身障害のため、お子さんの保育ができない場合
●母親が病人などの看護で、幼児の保育ができない場合
●母親のいない家庭

◎入所の手続き

●申請書（福祉事務所、各保育所にもあります）
●印鑑
●就労証明書、源泉徴収票（六十二年分）、診断書（病気などの場合）、母子手帳（出産）

◎問い合わせ

市福祉事務所児童係（☎53—5111内線384）へ。

浜地区保育所現地受付日程

受付場所	受付日	時間
浜三沢保育所	2月4日(木)	午前9時30分～11時
鹿中保育所	〃	午後1時～2時
三川目保育所	〃	午後2時30分～3時
四川目保育所	2月5日(金)	午前9時30分～11時
五川目保育所	〃	午後1時～3時30分
淋代保育所	2月8日(月)	午前9時30分～11時
チャリテー第一保育所	〃	午後1時～3時30分

住宅第一号完成

さつきヶ丘団地一般分譲

さつきヶ丘団地は、昭和六十二年四月から青森県住宅供給公社で分譲を開始したもので、晴れてこの度一般分譲住宅が完成し、昭和六十二年十一月二十八日、購入者に引き渡しがなされました。

青函博

第2期 前売券の発売

六十三年七月九日からいよいよ青函博が開会します。博覧会実行委員会では、一月一日から六月三十日までの間、第二期前売券の発売をします。

海外旅行ご招待ほか、ワクワクドキドキの豪華景品が当たる抽選券が付いていますので、お早めにお買い求めください。

■応募方法

はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、前売券についている抽選券を貼って郵送してください。

■入場料金

	前売券	当日券
大人	千五百円	二千円
高校生	千円	千五百円
小・中学生	七百円	千円
幼児	二百円	三百円

●送り先／〒030青森市安方一―一―四〇青函博事務局「わくわく抽選」係

お年寄りへ 手づくり料理プレゼント

市内の一人暮らしのお年寄りの方々へ、家庭料理を味わってもらおうと十二月十一日幸町一丁目婦人部幸の友の会（鈴木セツ会長）の会員十二人が、市内七十人のお年寄りを訪問。自慢の手づくり料理十五品目のオリ詰れをプレゼントし喜ばれました。

一月十日は「一一〇番の日」です

一月十日は「一一〇番の日」です。一一〇番は、早く、正しく、要領よくがポイントです。

また、次のような専用電話を設け、各種相談に応じています。

○住民コーナー		(0176) 53－3145
○暴力１１０番		(0177) 73－1110
○覚せい剤・サラ金１１０番		(0177) 73－4488
○悪徳商法相談		(0177) 73－4488
○ヤングテレホン（いじめ110番）	警察本部	(0177) 23－3001
	八戸警察署	(0178) 22－7676

こんな時は 行政書士へ

建設業の許可をとりたい、農地を宅地に使いたい、飲食店を開業したい……。このような官公庁へ提出する書類で、お困りになったり、頬わしくなったりしたことがありませんか。

こんな場合は、行政書士に相談してください。書類作成から手続きまで法にのっとって代行するのが行政書士の仕事になっています。

土地利用、建設業者、営業許可、身分上のこと、法人設立、自動車、交通事故、公害防止、権利・義務、事実証明などに関する書類の作成などです。

昭和62年度最低賃金の改定

件名（発行年月日）	最低賃金額
青森県食料品・飲料・飼料製造業 (62. 12. 25)	1日 3,690円（時間給 460円）
青森県繊維産業 (62. 12. 25)	1日 3,490円（時間給 435円）
青森県木材・木製品・家具・装備品製造業 (62. 12. 25)	1日 3,650円（時間給 455円）
青森県出版・印刷・同関連産業〔速記・筆耕・複写業を含む。〕 (62. 12. 25)	1日 3,670円（時間給 460円）
青森県窯業・土石製品製造業 (62. 12. 25)	1日 3,960円（時間給 495円） ただし、次に掲げる者については 1日 3,560円（時間給 445円） 1．コンクリートブロック製造業など 2．伝票整理、記帳、電話の受付けなど
青森県機械・金属製品等製造業 (62. 12. 25)	1日 3,750円（時間給 470円）
青森県卸売・小売業 (62. 12. 25)	(1)卸売業に係る者 1日 3,770円（時間給 470円） (2)小売業に係る者 1日 3,490円（時間給 435円）
青森県自動車整備業 (62. 12. 25)	1日 3,760円（時間給 470円）
産業別最低賃金から共通して適用が除外され、青森県最低賃金の適用を受ける労働者	1．18歳未満又は65歳以上の者。 2．雇入れ後3月未満の者であって、技能習得中のもの。 3．清掃、片付け、賄いその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事するもの。
青森県最低賃金 (62. 10. 10)	1日 3,323円（時間給 416円） ただし、上記の産業別最低賃金が定められている業種については、それぞれの産業別最低賃金が適用される。

◎詳細は、青森労働基準局賃金課（34－4111）または所轄労働基準監督署へ。

❀❀ 善意ありがとう ❀❀

◎市福祉事務所に次のような寄付がありました。●十一月十九日、国際ソロプチミスト三沢（石岡美和子会長）から十万円●十二月一日、三沢市ボランティア交友会（伊藤文二三会長）から十二万円●十二月一日、八戸信用金庫（前森千松理事長）から二十万円●十二月一日、市立第一中学校生徒会から文化祭バザーの売上金三万三千二百四十円●十二月四日、㈱桜井薬品から社会福祉へ五万円

◎社会福祉協議会に次のような寄付がありました。●十二月八日、緑友会（小関親信会長）からチャリティーダンスパーティーの益金九万八千円を社協を通じ、ひまわり乳児院へ十年連続指定寄付●十一月十九日、三沢高校インターアクトクラブ（北向紀子会長、部員三十人）から文化祭チャリティーバザーの益金八万円を社協を通じ、心の友作業所へ。

◎県共同募金会三沢市支会に次の通り歳末助け合い募金がありました。●五日市キクさん（四川目）から二万円●三沢愛石会（野村喜三郎会長）から一万五千六百三十一円●青森県歌謡演歌クラブ（蛯名渉会長）から一万五千円●中田豊太郎さん（幸町一丁目）から一万円●山本兵太郎さん（松園町二丁目）から五千円●角金作さん（浜三沢）から五千円●三沢市さつきダンス愛好会（類家輝子代表）から二万円●苫米地ウメさん（ひまわり乳児院長）から一万円●匿名希望の方から一万円●十一月二十一日、市老人クラブ連合会（根岸左角会長）から芸能祭の益金十万円と、市内二十九老人クラブから二万九千円。

1月6日から

出稼者の懇談会と健康相談

「安全で明るい出稼」実現のため、市では新年一月六日から八日までの間、出稼ぎについての安全就労、健康管理、その他の問題や留守家族のこまりごとなどについて懇談会と健康相談を行います。

当日、会場では血圧測定や尿検査、出稼者事故見舞金制度への加入受付けを行います。

正月休みで帰省する出稼者やこれから出稼ぎに出かけるみなさんの参加をお願いします。

〈日程及び場所〉

◎一月六日（水）
塩釜公民館　午前九時半
織笠地域集会所　午後一時半

◎一月七日（木）
淋代公民館　午前九時
五川目公民館　午後一時半

◎一月八日（金）
四川目公民館　午前九時

◎問い合わせ―市役所社会課（☎53―5111内線315）へ。

市議会議員立候補者等の説明会

昭和六十三年三月十九日任期満了の、三沢市議会議員一般選挙に伴う立候補予定者、および運動員予定者の説明会を次の通り行います。

▽日時　昭和六十三年二月十日（水）午後一時半

▽場所　市役所別館四階研修室

▽立候補予定者には、立候補届用紙類一式を交付します。

※三沢市議会議員一般選挙は、三月六日告示、三月十三日が投票日です。

▽問い合わせは、三沢市選挙管理委員会（☎53―5111内線308）へ。

テレビ年賀

三沢市長「新春に語る」

●1月2日(土)

▼ATV　午前7時50分～8時

▼RAB　午前11時30分～40分

1月7日

民俗芸能公演会

市の伝統芸能を広く知ってもらおうと、第十四回三沢市民俗芸能公演会を次の通り行います。

▽とき　一月七日（木）午前十時～午後三時

▽ところ　市公会堂小ホール

▽入場　無料

※詳しくは、市教育委員会社会教育課（☎53―5111内線369）へ。

技術指導員を派遣します

八戸地域高度技術振興センターでは、事業の転換、新分野進出を目指す事業主（中小企業者）の皆さまへ技術指導員を無料派遣します。

●目的―特定地域（八戸市、三沢市）の中小企業構造の高度化および活性化の促進を図るためのものです。

●内容―対象中小企業者のニーズに対して、適切な技術指導員を無料で派遣し、技術指導の相談に応じるものです。

◎問い合わせ―市商工観光課（☎53―5111内線280）または八戸地域高度技術振興センター（☎0178―45―3640）へ。

▽一月九日(土)　午後一時～三時「講演会」●講師―東奥保育専門学院理事長　平川清氏

▽一月十日(日)「子ども手づくり講習会」(津軽凧絵付け)●対象―小学三年生以上、定員四十人、材料費一人六百円

▽一月二十四日(日)「手づくり講習会」(年賀状つづり)●対象―読書会員および一般市民、定員三十人、材料費一人五百円

◎ビデオ・コンサート

▽一月二十三日(土)午後二時～三時「河合奈保子ディドリームコンサート」

▽一月三十日(土)午後二時～三時「シブがき隊、ライブスペシャル」

〈おもな新着図書〉

「大人の時間(上)(下)」	木寛之
「南部藩落日の譜」	太田俊穂
「歴史を動かした77人の名僧」	新人物往来社編
「暮らしの道具学」	南和子
「ペーパーマジックの世界」	茶谷正洋
「おいしいシーフード料理」	家庭画報編
「明治医事往来」	立川昭二
「リラックスで人生が変わる」	小池能里子
「説得の方法」	W.D.コプリン
「日本の名家」	週刊読売編集部
「花どろぼう」	池田裕子
「ブラック・ジャック 1～6」	手塚治虫
「時事年鑑 昭和63年版」	時事通信社編
「墨絵色紙36種十二か月」	後藤和信
「お金との優雅な関係」	邱永漢
「大学生活A to Z」	大学生活研究会
「うず潮のひと」	高橋治
「ポーリング博士の快適長寿学」	ライナス・ポーリング
「木造住宅の設計法」	大庭孝雄
「主役・脇役・湧かせ役」	川口幹夫

広　沢　邸

1月のカレンダー January

2月 February 1988	
1 (月)	指名競争入札参加者受付　29日まで、償却資産の申告期限
2 (水)	
3 (水)	市・県民税の申告開始（3月15日まで）
4 (木)	
5 (金)	

1 (金)	元日	17 (日)	
2 (土)	テレビ年賀(ATV 前 7:50、RAB 前11:30)	18 (月)	年金相談(市役所 前10:00) 3ヵ月児健診(保健所 後 1:00)
3 (日)		19 (火)	
4 (月)	御用始め 新年互礼会(公会堂 後 1:00)	20 (水)	保育所入所申請受付　2月10日まで
5 (火)	3ヵ月児健診(保健所 後 1:00)	21 (木)	
6 (水)	出稼者懇談会健康相談(塩釜公民館 前 9:30、織笠地域集会所 後 1:30) 消防出初式(市役所前 前10:00)	22 (金)	法律相談(市役所 後 1:00、午前中受付)
7 (木)	出稼者懇談会健康相談(淋代公民館 前 9:00、五川目公民館 後 1:30) 民俗芸能公演会(公会堂 前10:00) 献血(住友化学 前10:00、市立病院 後 1:30)	23 (土)	ビデオ・コンサート(図書館 後 2:00)
8 (金)	出稼者懇談会健康相談(四川目公民館 前 9:00) 交通事故相談(市役所 前10:00)	24 (日)	手づくり講習会(図書館)
9 (土)		25 (月)	
10 (日)	子ども手づくり講習会(図書館)	26 (火)	
11 (月)	人権・行政相談(市役所 前10:00)	27 (水)	消費生活苦情相談(市役所 後 1:00)
12 (火)		28 (木)	3歳児健診(保健センター 後 1:00)
13 (水)	消費生活苦情相談(市役所 後 1:00) 1歳6ヵ月児健診(保健センター 後 1:00)	29 (金)	
14 (木)	税務相談(市役所 前10:00)	30 (土)	ビデオ・コンサート(図書館 後 2:00)
15 (金)	三沢市成人式(公会堂 前10:30)	31 (日)	
16 (土)		※この欄に掲載ご希望の方は、毎月15日まで市役所広報課へ申し込みしてください。 三沢市桜町1－1－38　☎ 53－5111 内線 214、220	

〈献血だより〉

1月7日

10：00～12：00　住友化学工業

13：30～15：30　三沢市立三沢病院

〈休日救急診療〉

1月1日	市川内科クリニック
1月2日	浜三沢診療所
1月3日	柿崎外科医院
1月10日	五十嵐内科
1月15日	佐々木整形外科
1月17日	田辺医院
1月24日	荒井医院
1月31日	高橋医院
2月7日	黒川医院
2月11日	荒井内科医院

※午後5時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。在宅医を確認のうえ診療を受けてください。

人口調べ　(11月末日現在)

		(前月比)
男	21,473	+14
女	21,033	+24
計	42,506	+38
世帯数	14,996	+27

今月の相談日

●資料がある場合は、持参してください。
●お気軽にご利用ください。

◎消費生活苦情相談
日時　1月13、27日
　　午後1時～3時
場所　市役所ロビー
担当　県委嘱相談員

◎人権・行政相談
日時　1月11日
　　午前10時～午後3時
場所　市民相談室
担当　人権擁護委員
　　行政相談委員

◎法律相談
日時　1月22日
　　午後1時～4時
受付　午前9時～正午
場所　市民相談室
担当　大沢一実弁護士

◎交通事故相談
日時　1月8日
　　午前10時～午後3時
場所　市民相談室
担当　県交通事故相談員

◎年金相談
日時　1月18日
　　午前10時～午後2時
場所　市役所ロビー
担当　八戸社会保険事務所

◎税務相談
日時　1月14日
　　午前10時～
　　午後3時半
場所　市民相談室
担当　国税局税務相談官

三ヵ月児健康診断

●とき―毎月第一・第三火曜日(祝祭日は除きます)
●ところ―三沢保健所
●受付時間―午後一時～一時半
●持参する物―母子健康手帳、バスタオル、着がえ
●股関節脱臼のレントゲン撮影を希望する方は、千四十八円かかります。
●健診時に神経芽細胞腫(小児がん)の無料検査用紙を配布。

一歳六ヵ月児健康診査

●とき―一月十三日(水)
●ところ―保健相談センター
●該当者―昭和六十一年五月生まれの方
●受付時間―午後一時～二時
●診査内容―内科・歯科医師の診察・身体測定など
●持参する物―母子健康手帳、バスタオル

三歳児健康診査

●とき―一月二十八日(木)
●ところ―保健相談センター
●該当者―昭和五十九年十一月から十二月生まれの方
●受付時間―午後一時～二時
●診査内容―内科・歯科医師の診察・検尿・身体測定など
●持参する物―母子健康手帳、バスタオル

※問い合わせ
三沢保健所
(☎53―3101)
保健相談センター
(☎57―0707)

三沢市民の歌

川原芳雄・作詩
清野　健・作曲
野村旬平・編曲

一、東の　海原よぎり
郷土を翔ける　翼よ風よ
その空その名
われらの三沢
われらの三沢市

二、みはるかす
上北の上北の野に
歴史を拓く　緑よ湖よ
この土その名
われらの三沢
われらの三沢市

三、築き行く　ふるさとの街
幸を育てん　友らよ皆よ
その愛その名
われらの三沢
われらの三沢市

※三沢市民の歌は、昭和四十三年十月、市制施行十周年を記念し作られたもので、歌詞は一般公募されたものです。